２０２５年度　学校経営の方針と重点

札幌市立米里中学校

Ⅰ　学校教育目標

(1) 教育目標

教育目標

総括目標

人間性豊かな生徒の育成

1．真理を求めてたゆまず努力する生徒（知）
2．情操を豊かにし、たがいに敬愛しあう生徒（徳）
3．健康でたくましい体力気力のある生徒（体）

(2) めざしたいこと

めざす生徒像

1．進んで学ぶ生徒
2．心豊かな生徒
3．健康でたくましい生徒

めざす学校像

よ 良さを認め合える学校
ね 粘り強く個性をはぐくむ学校
さ さわやかな挨拶、歌声あふれる学校
と 共に学び合い心の居場所がある学校

札幌の教育

「札幌らしい特色ある学校教育」
●雪国札幌を考える【雪】
●未来の札幌を考える【環境】
●学びの基盤となる【読書】

本校は昭和62年３月、地域住民の絶大なる期待を受けながら開校し、今年度は開校39年目を迎える。この間、この学校教育目標を教育実践の拠りどころとして掲げ、着実に教育活動を推進し、保護者や地域住民の負託に応えてきた。これもひとえに、本校教職員の教育に寄せる熱意と意欲、さらには保護者や地域住民の本校教育に対する理解と協力のたまものである。今後も、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を願うこの目標は、学校生活の全ての場、全ての教育活動において具現化すべく重視されなければならないと考える。

令和３年度より完全実施された学習指導要領においては「社会に開かれた教育課程の実現」、「教育の質的向上を目指す学校独自のカリキュラムマネジメント」「生きる力を育むことを目指した学校等段階間や教科等間のつながりを見通した教育課程」が強く求められている。

札幌市では、令和６年度より「第２期札幌市教育振興基本計画」を発表し、令和15年度までの10年間を『第２期札幌市教育ビジョン』において、札幌市の教育が目指す人間像を「自立した札幌人」とし、その育成のための基本的方向性を明らかにした。「自立した札幌人」とは、「未来に向かって新たな価値を創造し、主体的に学び続ける人・自他のよさを可能性を認め合い、しなやかに自分らしさを発揮する人・ふるさと札幌に誇りをもち、持続可能な社会の発展に向けて行動する人」である。そして、この計画を受けて「令和６年度札幌市学校教育」では、札幌市の学校が共通に取り組む包括的重点として、「コミュニティー・スクール」等の10の重点項目を設定している。また、令和４年度から札幌市学校教育の基盤として、**『人間尊重の教育』**を位置づけており、私たち教育者に求められている使命は、**学校が子ども一人一人にとって「自分が大切にされている」と実感できる場である**ことによって保障されるものという原点に立ち返り、相互承認の感度を高める教育活動をより意識して推進していく必要がある。

開校から掲げられてきた本校の教育目標「人間性豊かな生徒の育成」は、まさに「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育む営みであり、札幌市の教育が目指す目標に合致している。今後も、この目標の実現に向け、本校教職員が一体となって、家庭や地域、関係機関と連携し、邁進するのみである。

１．　学校経営の基本方針　～潤いと活力に満ちた学校の創造～

創意ある教育課程の編成・実践・評価・改善をめざす学校経営

学校教育目標の達成に最適な教育課程の編成を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を通し生徒に生きる力を育む実践に基づいた適切な評価をめざします。

生徒一人一人が生き生きと活動する学校経営

生徒一人一人の個性と能力を伸ばす指導に努め、生徒がマナーを意識して、楽しく、自分らしさを発揮して活動でき、**正義に満ちた学校づくり**をめざします。

教師としての専門性の向上と全教職員参加の学校経営

教師としての専門性を高め、指導力を身につけるための研修を深め、生徒が豊かに自己表現でき、主体的に自己実現できるよう支援活動を積極的に進めることをめざします。

保護者や地域社会との連携を一層深め、地域社会に開かれた学校経営

生徒の健全育成に向けて、一層保護者や地域社会との連携が重視されます。生涯学習の基盤づくりとなる学校教育の推進のためにも、情報を共有化し説明責任を果たし、開かれた学校をめざします。

令和７年度より、コミュニティー・スクール（ＣＳ）制度を導入し、今まで以上に地域に根差した学校づくりをめざします。

【令和7年度の学校経営方針】

「米里中で（学んで、学ばせて、働けて）良かった」と思える学校づくり

２．　学校教育推進の重点

◎　授業を大切にする姿勢の育成
◎　自己肯定感、自己有用感を高める特別活動
◎　米里中の文化構築・環境整備～自校への誇り
◎　保護者・地域からの信頼
◎　不登校生徒対応・いじめ撲滅

○ 実態に即した教育課程の編成・実施・評価の推進

①授業時数の確保と教育課程の適切な運用，米里中の評価の確立(適切な３観点評価)
②教科、特別活動のバランスよい実践
③「総合的な学習の時間」の実践と研修，キャリア教育の推進(小学校からのキャリアパスポート活用)

○ 意欲を高め，生徒が自ら学ぶ教科指導の推進

①自ら計画を立て実践する学習習慣の定着
②生徒一人一人の良さを引き出し、認め伸ばす指導の推進
③「わかる・できる・楽しい」を大切にする授業の推進
④課題探究的な学習を通して学ぶ力の育成

○ 生徒理解に基づく生徒指導の推進

①相互理解と信頼に基づく相談活動の充実（生徒の目線にたった共感的・予防的指導）
②五輪の和（家庭・学校・地域社会・教育委員会・関係機関に支えられた、指導体制の確立）
③生徒一人一人の人格を大切にし、仲間への思いやりの心と健全な社会生活を送る態度の育成
④規範意識の醸成とともに自己指導力（マナー）を向上させ、自己有用感・自己肯定感の育成

○ 心を豊かにする潤いのある教育環境づくりの推進

①学習の場にふさわしい人的環境、物的環境、言語的環境の確立
②施設設備、備品の管理と計画的、効果的活用
③文化的活動、奉仕的活動の推進
④命を大切にする指導の充実および、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応

○ 計画的な研修の推進

①専門性を高め資質の向上を図る研修、研究の推進
②創意に満ちた教科、学級、学年経営の推進
③説明責任を踏まえた絶対評価の実践

○ キャリア教育の推進

①学校教育活動全体を通じて必要な資質・能力の育成を図っていく
②小、中、高等学校とのつながりを考慮した適切な取組(小学校からのキャリアパスポート活用)

○ 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進

①自らの個性を生かし、心豊かに生きようとする意欲や態度の育成
②集団活動や体験的な活動を通して生活経験を広げ、自立を目指す意欲や態度の育成

○ GIGAスクール構想の推進

①１人１台タブレット端末の効果的な活用
②学習活動の一層の充実と授業改善に向けた教職員の研修の充実

３．指導場面・内容の共通化

同じ意図や目的で、全ての教職員から繰り返し指導されることで、指導された内容は確実に生徒の身に付いていきます。学校生活を充実させるために、そして社会で自立して生きていくために、校下の二小学校と共通して児童生徒に求める次の「５つのかぎ」を、あらゆる場面で指導し、身に付けさせていきます。

なぜ、それが必要なのかという問いの一つの答は、「社会に出て（働いて）生きていくため」。そのための最低限の学習（修行）を、しっかりとさせていきましょう。

５つのかぎ
～中学校の扉を開けることは、
社会への階段を一つ上ることです～
１　敬語遣い
２　挨拶
３　マナー
４　学びの姿勢
５　家庭生活

⇨

目標
「自立」と「共生」

○目標は社会に出て、
（働いて）生きていけること
○そのためにも、周りとの協調を
○今の行いが、将来の「自立」に
つながっているか問い続けましょう

教科指導　基礎・基本の明確化、個の伸長を図る少人数指導、成就感の体得、教科指導は生徒指導、到達度評価と説明責任、「分かる・できる･楽しい」ことを大切にする指導
始業チャイムの前に行動（チャイム席の徹底）

生徒指導　共感的指導、指導の記録化、師弟同汗、率先垂範、保護者・地域社会・関係機関への協力依頼、予防と早期発見・早期指導
※　コミュニケーション巡回（信頼関係のより一層の深化、いじめなどの予防）
明るく心地よい挨拶(授業の始めと終わり、朝、昼、放課後、部活動等)
スクールカウンセラー・相談支援パートナー、学びのサポーターとの連携、不登校生徒への支援、保護者への援助と相談

【交流会の設定】…別室登校生徒（不登校生徒）の状況把握と共通理解の目的から、週１回設定。
●構成メンバー　…　生徒支援部教育相談係，ＳＣ，相談支援パートナー
（状況に応じて）養護教諭，当該学級担任等

道徳指導　道徳の時間(教科書、資料、指導方法)の充実、豊かな心の育成(道徳的雰囲気の醸成)
※　指導内容22項目の計画的指導と深化、生徒と共により良い生き方を求める姿勢

学級指導　学級目標の具現化、指導の重点化、自主自立、一人一人の居場所、正義の通る学級、いじめのない学級、学級としての高まり

生徒会指導　自治的活動能力の育成と向上（居心地のよい潤いと活力に満ちた学校生活、活動内容の厳選、見通しとゆとり)、日常活動の活性化　地域との連携

行事の指導　目標の具現化と焦点化（各学年の姿、三年間の変容のイメージ）

総合的な学習　「生きる力」の基礎作り、目標の具現化と焦点化（各学年の姿）
※　地域社会の理解と協力（地域社会の人達の協力と参加）
※　週２時間の効果的な活用

進路指導　夢と自己実現，計画的指導　キャリア教育の一環としての進路指導という意識改革

清掃指導　現場指導（師弟同汗、率先垂範の具体的指導場面）
※環境の美化→紙屑を落とさない、ゴミはゴミ箱へ、破損･落書きの即時修理･修復

部活動　感謝の心の育成、趣味や特技の伸長、人間関係の伸長、元気な挨拶、時間の厳守

PTA活動　保護者の願いは教職員の願い、協力と共生、教育を楽しむ、躾の基本は家庭教育

４．危機管理について

情報開示に耐えうる指導・記録の配慮や工夫が必要であり、未然に防止･回避する姿勢が最も重要である。

５．働き方改革について

学校における働き方見直しの推進。

６．ＣＳ(コミュニティ･スクール)制度の充実に向けて

令和７年度実施に伴い、関係機関との調整の推進。